

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2019年3月15日

事業所名:あまーちforゆう

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	十分なスペースと、利用者が車イスから降りて、身体を伸ばせる和室スペースを確保している	はい:7 どちらともいえない:1 利用者が増えるとバギー、座位保持で活動するスペースが狭いのではないかと思います	利用者が増えると、フローアでの活動スペースについてはバギーや呼吸器・吸引器等配置の工夫が必要
	2 職員の適切な配置	看護師・保育士・喀痰吸引等の資格を有する職員その他指導員(入浴担当者)を配置している	はい:5 どちらともいえない:3	安心して利用していただくために常時、看護師対応が必要な重度の利用者の場合は、複数による看護師配置を検討している また、その適所に応じた人員配置をしていく
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	完全バリアフリー化している 広いエレベーターや雨天時の乗降に対応できるスペースを整備し、トイレにもオムツ交換用ベッドを設置している 入浴設備にテILT・リクライング式車いすやリフトがある	はい:8	利用者の成長に伴い、今後はリフトを使った移乗等の必要に応じた設備の活用を検討していく
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	清掃は専任の職員を配置し、他の職員も清潔に気を付け、感染予防に配慮している フローア・和室・浴室・脱衣所等活動により、移動し、心地よく過ごせるよう配慮している		空調や湿度の面では個別に対応しないといけない場合もあるので一人一人に留意しながら調整していく
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	9月に開所してから毎月会議を実施しており、3月には振り返りをしてPDCAサイクルへ積極的に参画している		半期ごとに振り返りをして、PDCAサイクルを実施していく また、多職種にわたって参画できるように工夫していく
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在のところ実施していない		どのように外部評価を得るかは検討していく
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	内部では定例の研修会を年に4回行っている その他会議の中で研修をすることもある また、外部の研修にも参加している		今後も時間を工夫して外部の研修にも参加する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	契約する前に必ず、施設の見学をしていた だき、聞き取りを行いアセスメントシートに記入し、計画を作成している	はい:6 どちらともいえない:1 未回答:1	半期ごとの総括の前には必ずアセスメントを行い計画の見直しをしていく
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	生活支援、発達支援、家族支援の3つの項目で目標を立てている それぞれ個別活動、集団活動を組み合わせる中で支援していけるように作成を行っている	はい:6 どちらともいえない:1	個別活動はより個人に合わせたものを充実させていく 年齢や性別に応じた配慮等もしていく スヌーズレンやボール遊び・絵本の読み聞かせなどの集団活動も充実していけるよう計画していく
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	本人の希望、家族の希望を聞き取りし、ニーズに沿った支援内容を記載している	未回答:1	次へのステップに進むために計画の見直しが必要で開所してから半年間の関わりで得た情報をもとに保護者の意見を聞きながら、見通しの持てる計画を作成していく
適切な支援の提供	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別活動においては一人一人に合った取り組み(絵本の読み聞かせ入浴方法等)様々なアプローチをしている 集団活動はイベント参加、季節の取り組み遊び等をしている それぞれを適宜組み合わせで行っている	はい:6 どちらともいえない:1 未回答:1	総括の中で話し合いながら計画を練り直し、より良い支援が提供できるよう職員間で連携していく
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	常勤職員を中心に話し合いを行っているが看護師の意見も取り入れている また、法人内の他事業とも連携し、音楽療法や季節のイベントに参加している		今後も多職種で連携しながら活動を立案していく 行事などは参加するだけでなく、プログラムの立案から関わっていく
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は時間が短く、入浴や制作など個別活動を中心に、始まりや終わりの会の中で集団活動等立案している 休日は長い時間を活かしてイベント参加等の集団活動や外遊び等を個別でできるように立案している	はい:6 どちらともいえない:1 未回答:1	課題を明確にして、平日・休校日などに応じた日案を作成していく 長期休暇における家族のニーズを把握し、様々な経験ができるように支援していく
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節ごとの活動(ハロウィン・クリスマス・餅つき大会など)やその他音楽療法などのイベントに参加している		イベントへの積極参加を引き続き行う 日々の活動にも変化をつける

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	打ち合わせが困難な日もある為、まとめてしていることもある 打ち合わせに参加できない職員には日案で役割分担・動きが分かる様にしている また、利用者別に支援チェック表を作成しており確認しながら行っている	今後も開始前には日案を確認し、職員間でも随時話し合いながら取り組んでいく 打合せの時間が取れない職員は日案を必ず見て役割の確認を行う
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	気付いたことは、日案に記入している 時間が取れない時が多いが、送迎の車内で職員間で支援についての話し合いをしている	振り返りと情報共有の面で不十分な点もあるので、打ち合わせ時間を設ける事や、日案の活用等書面での共有を考えていく
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	上記同様に日案に記載、職員間の話し合いをしている	定期的にケース検討などを行い、改善につなげていく
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	保護者から聞き取りをして計画を作成し、職員会議で検討している	3月の総括で見直しをし、今後も半期ごとの総括で見直しを行っていく
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	開催の案内をいただいた担当者会議には参加している	今後も積極的に参加していく
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	学校お迎え時に担任から引継ぎを受けている また、嘱託医との連絡体制も整えている	今後は学校参観や他事業所見学など、関係機関との連携を深めて行く
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	各利用者を通じて、主治医の指示書をいただいている 課題が発生した時はすぐに連絡が取れるようファイルを作成している	今後、診察の際には診断の情報をご家族から聞き取り、職員間で共有していく
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	通園されていた学園や相談支援担当者から情報を得ている また、学校送迎時に情報共有している	今後も学校との連携を深め、情報共有していく 新1年生に対してはそれまでの通園施設からの情報を得る

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	まだその事例は無い	学校を卒業される利用者が出た時に情報提供できるよう日々の記録を残していく	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	児童発達支援センターを通じての利用者に関しては、電話などで情報の共有・交換を行っている	研修には積極的に参加していく	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	児童クラブや児童館との交流は無いが、地域の小学生とはイベントを通して交流できた利用者もいる	はい:1 どちらともいえない:5 いいえ:1 未回答:1	来年度の小学生の喫茶イベントはより多く参加してもらえるように呼びかける 地域の祭り(小学生もたくさん来る)の中でforゆうを知ってもらえる催しを考える
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	法人として行っている 他事業所と合同での夏まつりを開催している また、事業所独自でバザーやもちつき等を行っている その際は地域住民にチラシ配布等で呼びかけをし招待している		今後も夏祭り・餅つき大会などの行事に招待していく
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約書・重要事項説明書で説明を行っている 支援の内容については、これから取り組んでいくところであったため、説明が十分とは言えない	はい:7 未回答:1	半年の経験を活かして支援内容を計画していき、十分な説明が出来るようにする
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画を示しながら説明して、サイン・捺印をいただいている	はい:6 どちらともいえない:1 未回答:1	今後は計画を示しながら、納得していただけるよう丁寧な説明を心掛ける
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレント・トレーニングは行っていない		医療的ケアの多い重症児のご家族に対してどのようなペアレントトレーニングがあるのか、まず学習をしていく
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡ノートに様子を記載し、送迎時に情報を交換することで共通理解につなげている	はい:7 どちらともいえない:1	今後もコミュニケーションをはかり、共通理解につなげていく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からの意見は職員間で話し合いを行い、対応している	はい:6 どちらともいえない:1 未回答:1	まだ開所してあまり間が無いので、今後は悩み事を相談できるような関係を築き、対応していく
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	出来ていない	はい:2 どちらともいえない:4 いいえ:1 未回答:1	保護者の要望を聞き取り、今後は懇談会等も検討していく
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情対応の体制を説明しており、提案いただいた保護者からの意見は真摯に対応している	はい:6 どちらともいえない:1 未回答:1	今後、苦情があれば迅速に対応していく
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	障害のある子どもの一人一人の挨拶や返事の仕方等意思疎通が図れるよう保護者から聞き取りを行い、個々の表現方法を職員間で共有している	はい:6 どちらともいえない:2	今後も丁寧な声掛けを行い反応を観察しながら意思疎通をはかり、職員間で共有していく また、様々なツールを利用しながらアプローチし、意思伝達の方法を探っていく
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	法人として年に4回、会報を発行している 行事予定は毎月配布の通所予定表に記載して、配布している	はい:6 どちらともいえない:1 未回答:1	行事予定については、年間予定表を作成し、配布する
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	会報・ホームページ等への写真の掲載は肖像権同意書をいただいている 又個人情報を関係機関に提供する時も個人情報同意書をいただいている	はい:7 未回答:1	今後も取り扱いには十分注意していく
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時対応マニュアル防災マニュアル感染症対応マニュアルを策定している防犯マニュアルは作成中で、職員に対して学習会を実施している	はい:6 どちらともいえない:2	防犯マニュアルについては修正が必要であり、他のマニュアルについても定期的に見直しをし、研修を実施していく 職員・ご家族への周知に努める
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	法人全体としては定期的にあらゆる災害を想定して避難訓練を実施している。forゆう単独では火災訓練を3月に実施した		今後はあらゆる災害を想定した訓練を年に回行い、非常時に備える

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	事業所内で年に1回、虐待防止研修を実施している		今後も年に1回虐待防止研修を定期的に研修を行っていく
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	組織的な決定の基に身体拘束同意書を作成した ご家族に説明し同意も得ているが、計画書への記載はできていない		今後は定期的に見直しをはかり、個別支援計画の中に記載して、ご家族の同意を得る
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	現在のところは、お弁当や栄養剤を持参してもらっている。		今後も、アレルギーのある利用者に対しては、アセスメントや計画作成時に聞き取りをし計画に入れて注意して支援を行う 今後食物アレルギーのある子どもに対してこちらでクッキングや食事提供する場合は医師の指示書に基づいて適切な対応をしていく
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット報告書の作成を行い、主任、管理者が確認の上、毎月の職員会議で必ず報告し共有を徹底している		半期ごとの総括の中で検討し、マニュアル化していく